

講義科目名称：会計学卒業研究Ⅱ

授業コード：

授業科目の区分等：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	4 年	2	必修
担当教員			
横田 昌彦			

授業のねらい（概要）	会計学に関する自己の研究課題の設定に始まり、論文指導や面接指導を繰り返しながら、卒業研究としての卒業論文の作成及び課題研究としての研究成果の発表を行うことを目的とする。具体的には、学部教育で獲得した知識や能力を総合的に活用することについて学ぶとともに、各自の研究課題に則した資料の分析、先行研究の分析、報告、意見交換などを繰り返しながら、研究成果に関する卒業論文の作成及び研究課題に関する成果発表を行う。
授業計画	研究報告 研究内容について発表を行う。 予習（時間）：タイトルの項目について考えておく（各120分） 復習（時間）：タイトルの項目についてまとめ、実践する（各120分）
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	DP（商学部）の2項目を意識した科目となっている。 1. 情報の収集、分析を行い、進んで課題解決に臨む姿勢 2. 専門的分野の学びを、実務や社会で応用できる能力 DP（会計学科）の1項目を意識した科目となっている。 1. 会計学の専門的知識を持ち、職業会計人として全うできる能力 【身に付くスキル】 課題解決力・創造的思考力
到達目標	①学部教育で獲得した知識や能力を総合的に活用することができる。 ②研究計画に基づき資料収集、先行研究の調査、報告、意見交換をすることができる。 ③卒業論文の作成、課題研究に関する発表をすることができる。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	課題の全体的な注意点などを授業内で解説する。
履修上の注意	次の事項について十分に注意すること。 (1) 講義の他、朝7時から予習復習を行う (2) web視聴を前提とした反転講義を行う (3) 欠席の場合には事前に教員に連絡する (4) 欠席（公欠含む）6回で履修放棄とみなす (5) 公認会計士論文式試験と同等の知識を要する (6) 卒業延期をしてまでも必ず公認会計士になりたいという意思を要する (7) 会計のプロを志す者として周りに迷惑をかけないふるまい、身だしなみを要する
成績評価の方法・基準	卒業論文（100%）
教科書	経理研究所において利用している「財務諸表論」のテキストを利用する。
参考書・教材	
備考	講義科目／実務家教員による授業
教員との連絡方法	高崎商科大学経理研究所のwebシステムを通じたメール（アドレスは授業内で周知）